

\* 塚教会CS新聞「いずみのひろば」は家族の人と一緒に読んで下さい。

# いずみのひろば

2018年10月号  
日本基督教団塚教会  
No.479 教会学校

## 「よきサマリア人」

ルカによる福音書 10:25~37



イエスさまは、人を助けたお話をされました。強盗に襲われて道で倒れている人がいます。

体中傷ついていて、とても動けそうにありませんでした。早く手当てをしなければ死んでしまうかもしれません。

その時、誰かの足音が聞こえてきました。立派な洋服を着た大人でした。けれど倒れている人に近づかないで、歩くスピードをあげて通り過ぎていきました。

しばらくすると別の足音が聞こえてきました。ところがその人も道の反対側を走るようにして通り過ぎていきました。

また、人の足音がしました。今度はサマリア人です。ユダヤ人とは仲が良くありません。いつもなら顔を合わせないまま通り過ぎます。でも、そのサマリア人は倒れている人に近づいていきました。そして、倒れている人の背中にそっと触れました。けがの手当てをし、宿屋に連れて行ってくれました。

イエスさまは、「行って、あなたも同じようにしなさい」とおっしゃいました。倒れている人を助けることは良いことです。助けてもらった人も神さまも喜びます。それが良いことだと大人も子どもも知っています。でも、なかなかそれができません。勇気がないのでしょうか？面倒なののでしょうか？

イエスさまは、そんな私たちのことをよく知っています。イエスさまが助けた人の話をしてくださったのは、良いことを教えるためというより、近づこうと思っても動けない私たちに勇気を送るためではないのでしょうか？

イエスさまは、良いとわかっている私たちに近づいて来てくださいます。

私たちの背中にそっと触れて、やさしくおしてください。「さあ、もう一回行ってごらんよ」って。こんなにうれしいことはありませんね。いつでもイエスさまがそばにいて励ましてくださっているなんて。

毎日毎日、いろいろなことがあります。元気が出ないことや、良いとわかっているけどできないこと。そんな私たちですが、イエスさまはよしといて愛してください。許して下さっています。少しでも勇気ができるように、人に優しくできま  
すように、心をしっかりと神さま、イエスさまに向けて歩いていくことができる私たちでありますように、心から願っています。

井勝 裕子  
《お話 井勝 裕子》